

愛媛県がん診療連携推進病院 現況報告書(令和6年度版)

令和6年4月1日時点について記載

1. 区分 (1) 新規指定 (2) 指定更新[指定年月日:令和 年 月 日] (3) 現況報告 ※該当する項目を口で囲む

2. 病院概要

Table with 3 columns: Item, Value, Unit. Rows include: (1) 病院名 (市立八幡浜総合病院), (2) 所在地等 (郵便番号 796-8502, 住所 愛媛県八幡浜市大平1番耕地638番地, etc.), (3) 開設 (開設者 八幡浜市長 大城 一郎, 開設年月日 昭和3年11月1日), (4) アクセス情報 (① 鉄道 予讃線 八幡浜駅から 車5分, ② バス 伊予鉄南予バス 市立病院バス停から 徒歩 1分, etc.), (5) 面積 (① 土地 16,133 m², ② 建物 18,199 m²), (6) 診療時間 (① 外来診療受付時間 月曜～金曜 8時30分～11時00分, etc.), (7) 診療科 (開設診療科名 (医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名))を以下に記載, 開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのアドレス https://yawatahama-cgh.jp/about/overview.html, 開設診療科数 17, 診療科名 (具体的に記載) 内科・呼吸器科・循環器科・消化器科・小児科, etc.), (8) 病床数等 (令和6年4月1日時点) (① 病床数 総数 256 床, うち療養病床 0 床, etc.), (9) 診療報酬に係る施設基準等 (① 施設基準を取得した病床数 一般病棟入院基本料(A100) 214 床, etc.)

②届出された先進医療の状況等				
先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2	
③診療報酬に係る施設基準等(件数は令和5年4月1日～令和6年3月31日の集計)				
DPC対象病院			いいえ	(はい/いいえ)
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり/なし)	2,500	件
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり/なし)	2,500	件
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし	(あり/なし)		件
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし	(あり/なし)		件
栄養サポートチーム加算(A233-2)	あり	(あり/なし)	185	件
医療安全対策加算1(A234-1)	あり	(あり/なし)	2,500	件
医療安全対策地域連携加算1	なし	(あり/なし)		件
医療安全対策加算2(A234-1)	なし	(あり/なし)		件
医療安全対策地域連携加算2	なし	(あり/なし)		件
患者サポート体制充実加算(A234-3)	なし	(あり/なし)		件
特定集中治療室管理料(A301)	なし	(あり/なし)		件
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	なし	(あり/なし)		件
緩和ケア病棟入院料1(A310)(※今期に限り、代替として緩和ケア病棟入院料1を算入)	なし	(あり/なし)		件
緩和ケア病棟入院料2(A310)	なし	(あり/なし)		件
がん性疼痛緩和指導管理料1(B001 22)	あり	(あり/なし)	18	件
がん性疼痛緩和指導管理料2(B001 22)	なし	(あり/なし)		件
がん患者指導管理料 1 (B001 23)	あり	(あり/なし)	0	件
がん患者指導管理料 2 (B001 23)	あり	(あり/なし)	0	件
がん患者指導管理料 3 (B001 23)	なし	(あり/なし)		件
外来緩和ケア管理料(B001 24)	なし	(あり/なし)		件
外来放射線照射診療料(B001-2-8)	なし	(あり/なし)		件
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	なし	(あり/なし)		件
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	なし	(あり/なし)		件
療養・就労両立支援指導料(B001-9)	なし	(あり/なし)		件
退院時共同指導料2(B005)	あり	(あり/なし)	435	件
退院時共同指導料2の医師同士の共同指導による加算	なし	(あり/なし)		件
退院時共同指導料2の3者以上の共同指導による加算	なし	(あり/なし)		件
がん治療連携計画策定料1(B005-6)	なし	(あり/なし)		件
がん治療連携計画策定料2(B005-6)	なし	(あり/なし)		件
がん治療連携管理料(B005-6-3)	なし	(あり/なし)		件
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり/なし)	1,125	件
病棟薬剤業務実施加算	なし	(あり/なし)		件
麻薬管理指導加算(B008)	なし	(あり/なし)		件
医療機器安全管理料2(B011-4)	なし	(あり/なし)		件
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり/なし)		件
画像診断管理加算1(第4部 通則)	あり	(あり/なし)	84	件
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり/なし)	8,207	件
遠隔画像診断による画像診断の施設基準(第4部 通則)	なし	(あり/なし)		件
ポジトロン断層撮影(E101-2)	なし	(あり/なし)		件
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-3)	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算1(第6部 通則)	あり	(あり/なし)		件
外来化学療法加算1(A)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算1(B)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(第6部 通則)	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(A)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(B)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
無菌製剤処理科1(G020)	あり	(あり/なし)	502	件
がん患者リハビリテーション料(H007-2)	あり	(あり/なし)	1,202	単位
輸血管理料I(K920-2)	なし	(あり/なし)		件
輸血管理料II(K920-2)	あり	(あり/なし)	359	件
放射線治療管理料(M000)	なし	(あり/なし)		件
放射線治療専任加算(M000)	なし	(あり/なし)		件
外来放射線治療加算(M000)	なし	(あり/なし)		件
放射性同位元素内用療法管理料1～5のいずれか(M000-1)	なし	(あり/なし)		件
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
画像誘導放射線治療加算の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
体外照射呼吸性移動対策加算の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり/なし)		件
在宅療養支援病棟の施設基準	なし	(あり/なし)		件
歯科医療機関連携加算(B009)	なし	(あり/なし)		件
周術期口腔機能管理後手術加算(K000)	なし	(あり/なし)		件
(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)		375	人
<p>・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。</p>				

①職種別内訳				
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。				
	非常勤		常勤	
	※(常勤換算)			
医師	4.89	人	28	人
歯科医師	1.57	人		人
薬剤師		人		人
保健師		人	5	人
助産師		人		人
看護師	8.91	人	142	人
准看護師	3.68	人	1	人
理学療法士		人	10	人
作業療法士		人	6	人
視能訓練士		人		人
言語聴覚士		人	2	人
義肢装具士		人		人
歯科衛生士	1.57	人		人
歯科技工士		人		人
診療放射線技師		人	7	人
臨床検査技師	2.19	人	10	人
衛生検査技師		人		人
臨床工学技士		人	4	人
管理栄養士		人	6	人
栄養士		人		人
社会福祉士		人	2	人
精神保健福祉士		人		人
介護福祉士		人		人
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。				
	非常勤		常勤	
	※(常勤換算)			
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について				
公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専門医		人	3	人
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	1.75	人		人
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医		人	1	人
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0.12	人	1	人
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医		人		人
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医	0.23	人		人
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0.31	人	1	人
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医		人	1	人
一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0.31	人	2	人
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0.04	人		人
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0.04	人		人
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	16.26	人	6	人
一般社団法人 日本外科学会 外科専門医		人	2	人
一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医		人		人
一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	1.57	人		人
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医		人		人
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医		人	1	人
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医		人		人
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0.31	人		人
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	4.01	人	4	人
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	3.54	人	2	人
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医		人	1	人
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医	0.15	人	2	人
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0.17	人		人
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医		人	2	人
一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医	1.45	人		人
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医		人		人
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医		人	1	人
一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	1.16	人		人
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医		人		人
一般社団法人 日本老年医学会 老年病専門医	0.08	人	1	人
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0.08	人		人
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医		人		人
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	1.55	人	1	人
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0.08	人		人
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医		人		人
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医		人		人
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医		人		人
一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医		人		人
一般社団法人 日本東洋医学会 漢方専門医		人		人
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0.23	人		人
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0.31	人		人
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0.31	人		人
一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医		人		人
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医		人		人
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医		人		人
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医		人		人
一般社団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医		人		人
一般社団法人 日本熱傷学会 熱傷専門医		人		人
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0.04	人		人
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医		人		人

生物統計家 (統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学研究の研究デザインやデータの統計解析を担当する。)		人		人
医師事務作業補助者	5.35	人	3	人
看護業務補助者	34.97	人	3	人
(11)その他 (令和6年4月1日現在)				
①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否				
			可	(可、否)
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	14	年 回開催(令和5年1月～令和5年12月)
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	0	年 回開催(令和5年1月～令和5年12月)
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい、いいえ)
ICD-10を外來病名管理に利用している			いいえ	(はい、いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			なし	(あり、なし)
遠隔病理診断			なし	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外來診察室におけるインターネット環境			あり	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			あり	(あり、なし)
(12)患者数・診療件数の状況				
①患者数等				
年間新入院患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※1			2,965	人
年間新入院がん患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※2			307	人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合			10.4%	
年間外來がん患者のべ数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※3			10,431	人
年間院内死亡がん患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)			33	人
新入院患者数(原則、令和5年11月1日～令和6年2月29日までの新入院患者。)* ※1			999	人
新入院がん患者数 ※2			128	人
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)			12.8%	
うち肺がん患者数(ICD-10コード C34\$, D02.2) ※			1	人
うち胃がん患者数(ICD-10コード C16\$, D00.2)			8	人
うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数(ICD-10コード C18\$, C19, C20, D01.0, D01.1, D01.2)			48	人
うち肝臓がん患者数(ICD-10コード C22\$, D01.5)			3	人
うち乳がん患者数(ICD-10コード C50\$, D05\$)			9	人
* ※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※3 年間外來がん患者延数は、当年の新來、再來がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外來患者として計上する。 4 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。				
②麻酔及び手術等の状況(令和5年11月1日～令和6年2月29日)				
全身麻酔の件数の総数			149	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数			22	件
イ 肺がん(C34\$, D02.2)の手術件数				
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$				件
胸腔鏡下手術 K514-2\$				件
ウ 胃がん(C16\$, D00.2)の手術件数				
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572				件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22			1	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531				件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532				件
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20, D01.0, D01.1, D01.2)の手術件数				
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$			1	件
腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$			8	件
内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K721-4, K739-2, K739-3			13	件
オ 肝臓がん(C22\$, D01.5)の手術件数				
開腹手術 K695\$				件
腹腔鏡下手術 K695-2				件
マイクロ波凝固法 K697-2				件
ラジオ波焼灼療法 K697-3				件
カ 乳がん(C50\$, D05\$)の手術件数				
手術 K476\$				件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2				件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$				件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3				件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32				件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数				
開胸手術 K511\$, K514\$, K518				件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513				件

ク	転移性肝がん (C787)の手術件数		
	開腹手術 K695\$		件
	腹腔鏡下手術 K695-2		件
③	放射線治療		
	※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
	ア-1 のべ患者数 (令和5年1月1日～令和5年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
	例: 令和5年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
	体外照射		人
	そのうち特殊なもの		
	定位照射(脳)		人
	定位照射(体幹部)		人
	強度変調放射線治療 (IMRT)		人
	小線源治療		人
	ア-2 のべ患者数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に放射線治療を開始した患者数)		
	例: 令和5年11月に新患として放射線治療を受け、令和6年2月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
	<入院>		
	肺がん		人
	胃がん		人
	肝がん		人
	大腸がん		人
	乳がん		人
	<外来>		
	肺がん		人
	胃がん		人
	肝がん		人
	大腸がん		人
	乳がん		人
	イ-1 照射回数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日のべ照射回数)		
	体外照射		回
	そのうち特殊なもの		
	定位照射(脳)		回
	定位照射(体幹部)		回
	強度変調放射線治療 (IMRT)		回
	小線源治療		回
	イ-2 のべ照射回数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日)		
	<入院>		
	肺がん		回
	胃がん		回
	肝がん		回
	大腸がん		回
	乳がん		回
	<外来>		
	肺がん		回
	胃がん		回
	肝がん		回
	大腸がん		回
	乳がん		回
④	がんに係る化学療法 (令和5年11月1日～令和6年2月29日)		
	ア のべ患者数 (化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
	例: 令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に、エトボドナシスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
	<入院>	23	人
	<外来>	27	人
	イ のべ処方件数 (抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
	例: 令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
	<入院>	185	件
	<外来>	250	件
	ウ のべ患者数 (内服のみのレジメンで実施した化学療法1レジメンを1人として数える。)		
	<入院>	6	件
	<外来>	73	件
	エ のべ処方件数 (内服のみのレジメンで抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数をかけた数とする。)		
	<入院>	278	件
	<外来>	5,996	件

⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	996	件
細胞診断(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	1,485	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	1	件
剖検(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	3	件
剖検率(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	1.5	%
イ 画像診断等の件数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)		
上部消化管内視鏡検査(食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	1,183	件
気管支内視鏡検査(気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	5	件
大腸内視鏡検査(大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	467	件
血管連続撮影(動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	464	件
CT検査 E2001\$	7,968	件
CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合	9	件
MRI検査 E202\$	2,580	件
RI診断検査(シンチグラム) E100\$	315	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101	308	件
PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$, E101-3\$	0	件

3. 愛媛県がん診療連携推進病院の指定要件等について

(様式4)

病院名 **市立八幡浜総合病院**
 指定要件での扱い
A:必須
B:原則必須
C:対応することが望ましい
 -:指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	我が国に多いがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有する(放射線療法については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可)とともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 *「我が国に多いがん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 *「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアをいう。 *「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙3に記載すること。	-	別紙3	
エ	我が国に多いがんについて、クリティカルパスを整備している。 *「クリティカルパス」とは、検査及び治療を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備している。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備状況を別紙4に記載すること。	-	別紙4	
キ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、がんセンターボードを設置している。 *「がんセンターボード」とは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	いいえ	(はい・いいえ)
② 化学療法の提供体制機能				
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 *「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、がんセンターボードと連携協力している。	C	いいえ	(はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙5に記載すること。	-	別紙5	
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	はい	(はい・いいえ)
イ	うち専任	C		人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する薬剤師数	1人以上C	1	人
エ	うち常勤の専任	C	1	人
オ	外来化学療法室または外来における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する看護師数	1人以上C	1	人
カ	うち常勤の専任	C	1	人
キ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙6に記載すること。	-	別紙6	
③ 放射線療法機能(実施医療機関のみ記入してください)				
ア	定期的な線量計の校正を実施している。	-		(はい・いいえ)
イ	治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)	-		
ウ	外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。	-		(はい・いいえ)
エ	第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-		(はい・いいえ)
オ	測定機関名	-		(医用原子力技術研究振興財団、その他)
カ	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)	-		その他の場合
診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A		人
イ	うち専任	C		人
ウ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A		人
エ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等の人数	1人以上C		人
オ	うち常勤の専任	C		
カ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙7に記載すること	-	別紙7	
体制(連携対応の医療機関のみ記入してください)				
ア	他の医療機関との連携によって対応する場合、連携する医療機関名について別紙8に記入すること。	A	別紙8	

④ 緩和ケアの提供体制			
機能			
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	-	別紙9
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順について別紙10に記入すること。	-	別紙10
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	いいえ (はい・いいえ)
オ	緩和ケア外来患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	-	人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記入すること。	-	別紙11
キ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A	はい (はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームに対する新規診療症例について別紙12に記入すること。	-	別紙12
ケ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	-	別紙13
コ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
サ	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	http://	https://yawatahama-cxh.jp/torikumi/team.html#team-03
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	具体的に		
シ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	-	別紙14
ス	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
セ	拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関等との連携協力体制の整備に協力している。	A	はい (はい・いいえ)
ソ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-	0 床
タ	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
チ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。	-	いいえ (はい・いいえ)
ツ	院内で統一した疼痛の評価尺度がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上C	1 人
イ	うち専任	C	人
ウ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上C	1 人
エ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する看護師数	1人以上C	1 人
オ	うち常勤の専従	C	
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	1 人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	1 人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15
⑤ 病理診断			
機能(実施医療機関のみ記入してください)			
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	いいえ (はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	いいえ (はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	いいえ (はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	1 人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	1 人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙16に記載すること	-	別紙16
体制(連携対応の医療機関のみ記入してください)			
ア	病理診断について、他の医療機関から協力を得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙17に記入すること。	A	別紙17
⑥ 病連携・病診連携の協力体制			
ア	拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
ウ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
エ	地域の医療機関との連携協力体制の整備状況について、別紙19に記載すること。	-	別紙19
オ	我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスの整備に協力している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A	はい (はい・いいえ)
カ	地域の医療機関等と協力し、地域連携クリティカルパスを積極的に活用している。	A	はい (はい・いいえ)
キ	地域連携クリティカルパスの整備状況について、別紙20に記載すること。	-	別紙20

⑦ セカンドオピニオンの提示体制			
ア	我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する機能を持つが、セカンドオピニオンの可能な他の医療機関を紹介するなど施設間連携によって対応できる体制を有している。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい (はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙21に記載すること。	-	別紙21
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段		
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http:// https://yawatahama-cgh.jp/torikumi/second-opinion.html
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		具体的に	
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙22に記載すること。	-	別紙22
オ	セカンドオピニオン外来がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
⑧ その他			
スタッフのサポート体制			
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	いいえ (はい・いいえ)
イ	推進病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療			
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
	担当科		
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
(2) 医療施設			
① 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置			
ア	放射線療法を行う場合、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	いいえ (はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	いいえ (はい・いいえ)
エ	白血病を専門とする分野に掲げている場合、無菌病室を設置している。	A	白血病を専門としていない (設置、白血病を専門としているが設置なし、白血病を専門としていない)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい (はい・いいえ)
カ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙23に記載すること。	-	別紙23
② 敷地内禁煙等			
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙 (敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
		その他の場合記載	
ウ	禁煙外来を実施している。	-	いいえ (はい・いいえ)
エ	「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」(令和元年)に準拠している	-	はい (はい・いいえ)
2 研修の実施体制			
(1) ア	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修会への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24
(2) ア	(1)のほか、拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25
(3) ア	拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同カンファレンスに積極的に参加している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	合同カンファレンスの参加状況について別紙26に記載すること。	-	別紙26
3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援機能			
①	院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
②	当該窓口配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A	3 人
③	当該窓口は、拠点病院と連携して、患者、その家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
④	相談支援窓口の相談対応状況を別紙27に記載すること。	-	別紙27
⑤	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙28に記載すること。	-	別紙28
⑥	相談件数 ※がんに関する相談に限る。令和6年1月-2月	-	45 件
ア	対面相談		45 件
イ	電話相談		0 件
ウ	fax相談		0 件
エ	e-mail相談		0 件
⑦	各種対応窓口について別紙29に記載すること。	-	別紙29

(2)院内がん登録				
①	院内がん登録を実施している。その際、がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27年厚生労働省告示第470号)に即して実施するよう努めている。	A	はい	((はい・いいえ))
②	院内がん登録の登録様式については、国立がん研究センターが提示する院内がん登録に係る標準様式に準拠している。	C	はい	((はい・いいえ))
ア	院内がん登録の登録項目数	-	88	項目
イ	院内がん登録の登録実施項目について、別紙30に記載すること。	-	別紙30	
③	院内がん登録を活用することにより、愛媛県が行うがん登録事業に積極的に協力している。	A	該当都道府県に協力	(複数の都道府県に協力、該当都道府県に協力、所在都道府県において未実施、協力未実施)
(3)その他				
①	我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	-	はい	((はい・いいえ))
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	((はい・いいえ))
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
			具体的に	
②	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。			
ア	進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
			具体的に	
イ	参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報することが望ましい。	-		
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
			具体的に	
ウ	院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	窓口で対応している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	電話で対応している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	FAXで対応している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
	e-mailで対応している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
③	その他の情報提供等			
ア	患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	いいえ	((はい・いいえ))
イ	地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	いいえ	((はい・いいえ))
ウ	患者・住民向け講演会を定期的に開催している。	-	いいえ	((はい・いいえ))
エ	患者・住民向け講演会の実施情報について、別紙31に記載すること。	-	別紙31	
オ	推進病院として、地域住民に対する病院の今後の取組方針などのアピールを別紙32に記載すること。	-	別紙32	

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 市立八幡浜総合病院
令和6年4月1日現在

1. コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	8列
1	東芝メディカルシステムズ	Aquilion One Vision Edition	2015年3月27日	320列
2				
3				
4				
5				
6				
7				

2. 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	1.5T
1	フィリップスエレクトロニクスジャパン	Ingenia 1.5T	2015年3月27日	1.5T
2				
3				
4				
5				
6				

3. 核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1	デジタルガンマ装置	東芝メディカルシステムズ	Symbia E	2015年3月27日	
2					
3					
4					
5					

4. マンモトーム

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1	富士フイルム	マンモグラフィ-Amulet S	2015年3月25日	
2				
3				
4				

5. 血管造影連続撮影検査(または IVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1	循環器X線血管造影装置	フィリップスエレクトロニクスジャパン	Allura Clarity FD10	2015年3月27日	
2	頭腹部X線血管造影装置	東芝メディカルシステムズ	INFX-8000C	2015年3月27日	
3					
4					
5					

6. 外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2015年10月1日	6MV、10MV	有
1						
2						
3						

7. 小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

8. X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

9. 放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

10. 三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

11. バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日
1			
2			
3			

先進医療への対応状況（がんに関するもの）

病院名 市立八幡浜総合病院

	先進医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (令和5年11月 ～令和6年3 月)	担当診療科名
1	特になし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

診療機能

期間 令和6年4月1日時点
 病院名 市立八幡浜総合病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
		定位放射線治療	実施可	あり							
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん		手術	開胸手術	未実施	なし						
			胸腔鏡下手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			定位放射線治療	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし							
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		未実施									
胃がん		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	はい	いいえ	https://yawatahamacgh.jp/about/achievements.html#achievements-03
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	内科	3	いいえ	はい	いいえ	
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		実施可		外科							
大腸がん		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	はい	いいえ	https://yawatahamacgh.jp/about/achievements.html#achievements-03
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	内科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		外科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容					
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可		
肝がん		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	3	いいえ	はい	いいえ	https://yawatahama-cgh.jp/about/achievements.html#achievements-03	
		化学療法		実施可	なし	内科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	未実施	なし							
			マイクロ波凝固法	未実施	なし							
			エタノール局所注入療法	未実施	なし							
		肝動脈塞栓術(TAE)		未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	未実施	なし							
定位放射線治療	未実施		なし									
集学的治療		実施可		外科								
乳がん		手術	乳房切除	実施可	あり	外科	3	いいえ	はい	いいえ	https://yawatahama-cgh.jp/about/achievements.html#achievements-03	
			乳房温存	未実施	なし							
			乳房再建	未実施	なし							
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	未実施	なし							
			小線源治療	未実施	なし							
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし							
集学的治療		実施可		外科								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点(実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日(あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
脳腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		定位放射線治療	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など								
脊髄腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		定位放射線治療	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:脊髄腫瘍など								
眼、眼窩腫瘍	手術	未実施	なし							
	冷凍凝固術	未実施	なし							
	光凝固術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	眼動注	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
小線源治療		未実施	なし							
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など								

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
頭頸部がん		手術	摘除術、再建術	未実施	なし					
		化学療法		未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
		集学的治療		未実施						
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど						
甲状腺がん		手術		未実施	なし					
		化学療法		未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
			放射性ヨード内服治療	未実施	なし					
		集学的治療		未実施						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 甲状腺がん								
食道がん		手術	開胸手術	未実施	なし					
			胸腔鏡下手術	未実施	なし					
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	未実施	なし					
			粘膜下層剥離術(ESD)	未実施	なし					
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
光線力学療法		未実施	なし							
集学的治療		未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
縦隔腫瘍		手術	開胸手術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:胸腺腫など							
中皮腫		手術		未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:中皮腫							
膵がん		手術	開腹手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		外科					
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:膵がん							
胆道がん		手術	開腹手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		外科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
十二指腸・小腸がん		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		外科					
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
腎がん		手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:腎がん									
膀胱がん		手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:膀胱がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
尿路がん	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		経尿道的手術	実施可	あり						
	化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
	腎盂・尿管内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
	集学的治療		実施可		泌尿器科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど								
副腎腫瘍	手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
	集学的治療		実施可		泌尿器科					
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
前立腺がん	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		腹腔鏡下手術	未実施	なし						
		腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
	化学療法		実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		泌尿器科						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:前立腺がん								

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
精巣がん		手術	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
		集学的治療	実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:精巣がん							
その他の男性生殖器がん		手術	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	泌尿器科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:陰茎がん							
子宮がん		手術	開腹手術	未実施	なし					
		手術	腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし					
		化学療法		未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
		放射線療法	小線源治療	未実施	なし					
		光線力学療法		未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:子宮頸がん、子宮体がん									
卵巣がん		手術	開腹手術	未実施	なし					
		化学療法		未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:卵巣がん							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
その他の女性生殖器がん		手術	開腹手術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど							
皮膚腫瘍		手術		未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		インターフェロン療法		未実施	なし						
		凍結療法		未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど							
悪性骨軟部腫瘍		手術	切・離断術	未実施	なし						
			患肢温存術	未実施	なし						
			再建術	未実施	なし						
			骨移植術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
血液腫瘍		化学療法	未実施	なし						
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし					
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし					
			非血縁者同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			全身照射	未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など								
小児脳腫瘍		手術	未実施	なし						
		化学療法	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			定位放射線治療	未実施	なし					
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など								
小児網膜芽細胞腫		手術	未実施	なし						
		化学療法	未実施	なし						
		眼動注	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
		冷凍凝固術	未実施	なし						
		光凝固術	未実施	なし						
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫								
小児固形										

形腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
小児悪性骨軟部腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
その他の小児固形腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
小児血液腫瘍	化学療法	未実施	なし							
	移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし						
		血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
		非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし						
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
集学的治療										
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
原発不明がん	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	未実施	なし							
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:原発不明がん								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	未実施	なし							
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 性腺外胚細胞腫								
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor: 消化管間質腫瘍)	手術	実施可	あり	外科	3	いいえ	はい	いいえ	https://yawatanama-cgh.jp/about/achievements.html#achievements-03	
	化学療法	実施可	あり	外科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
	放射線療法	未実施	なし							
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: GIST								
その他疾患名:	手術									
	化学療法									
	放射線療法									
	集学的治療									
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください									
その他疾患名:	手術									
	化学療法									
	放射線療法									
	集学的治療									
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください									
その他疾患名:	手術									
	化学療法									
	放射線療法									
	集学的治療									
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください									

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 市立八幡浜総合病院

パス整備数 0

パス適応数 0

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	令和3年12月13日
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	令和4年8月7日
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	令和5年3月1日
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					

化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 令和6年4月1日時点

病院名 市立八幡浜総合病院

	職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/ 兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)	医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	外科	常勤	兼任	20	日本外科学会 専門医 日本癌治療認定医機構 がん治療認定医
2	医師	泌尿器科	常勤	兼任	38	日本泌尿器科学会 専門医
3	医師	内科	常勤	兼任	26	日本内科学会 総合内科専門医
4	薬剤師		常勤	専任	16	5年以上化学療法の経験がある
5	看護師		常勤	専任	14	がん化学療法看護 認定看護師
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

- 研修医は除くこと。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。（「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知）の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照）。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

期間 令和6年4月1日時点
 病院名 市立八幡浜総合病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	未実施				
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

集学的治療の提供にあたって放射線療法を
他の医療機関との連携によって対応できる体制

令和5年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名 市立八幡浜総合病院

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇-〇-〇	35人
1	愛媛大学医学部付属病院	東温市志津川	1
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

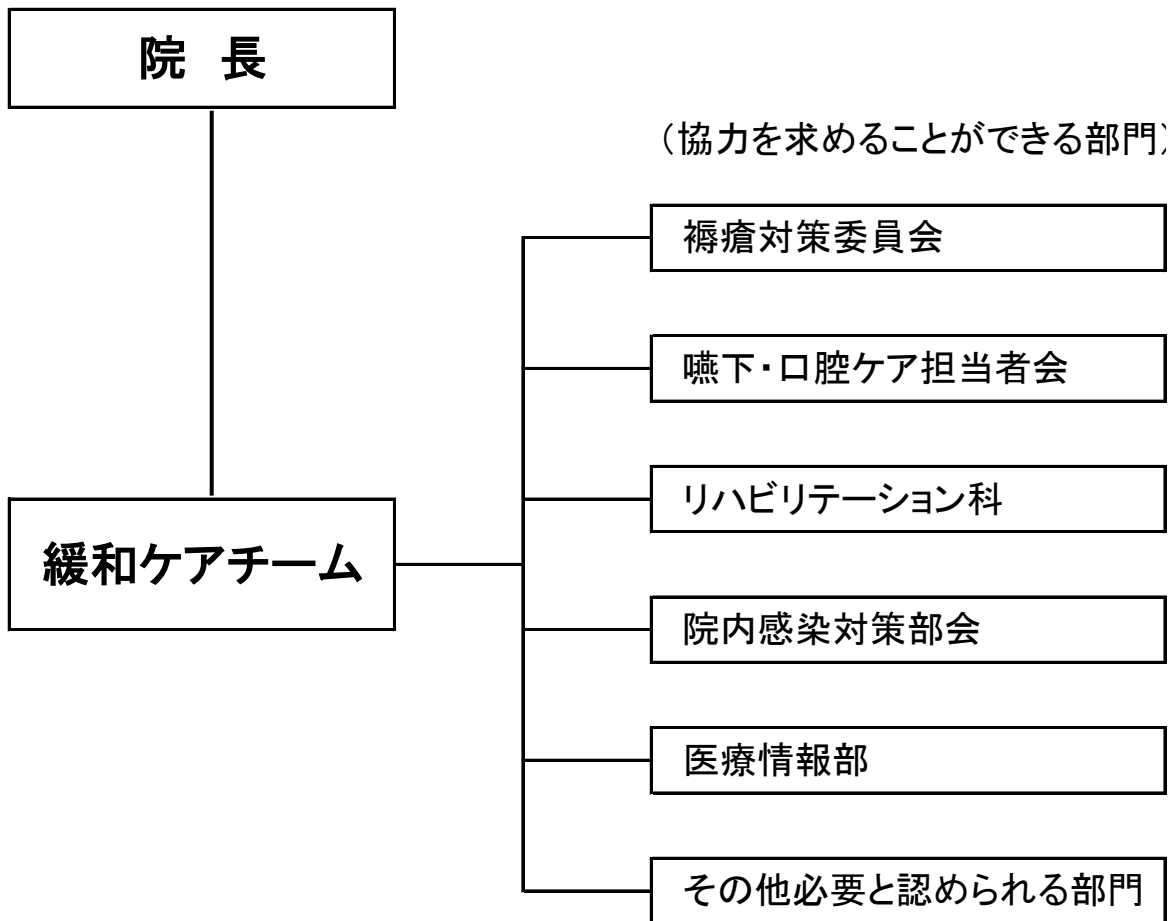
緩和ケアチームの組織・体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 市立八幡浜総合病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

緩和ケアチーム組織図



(別紙10)

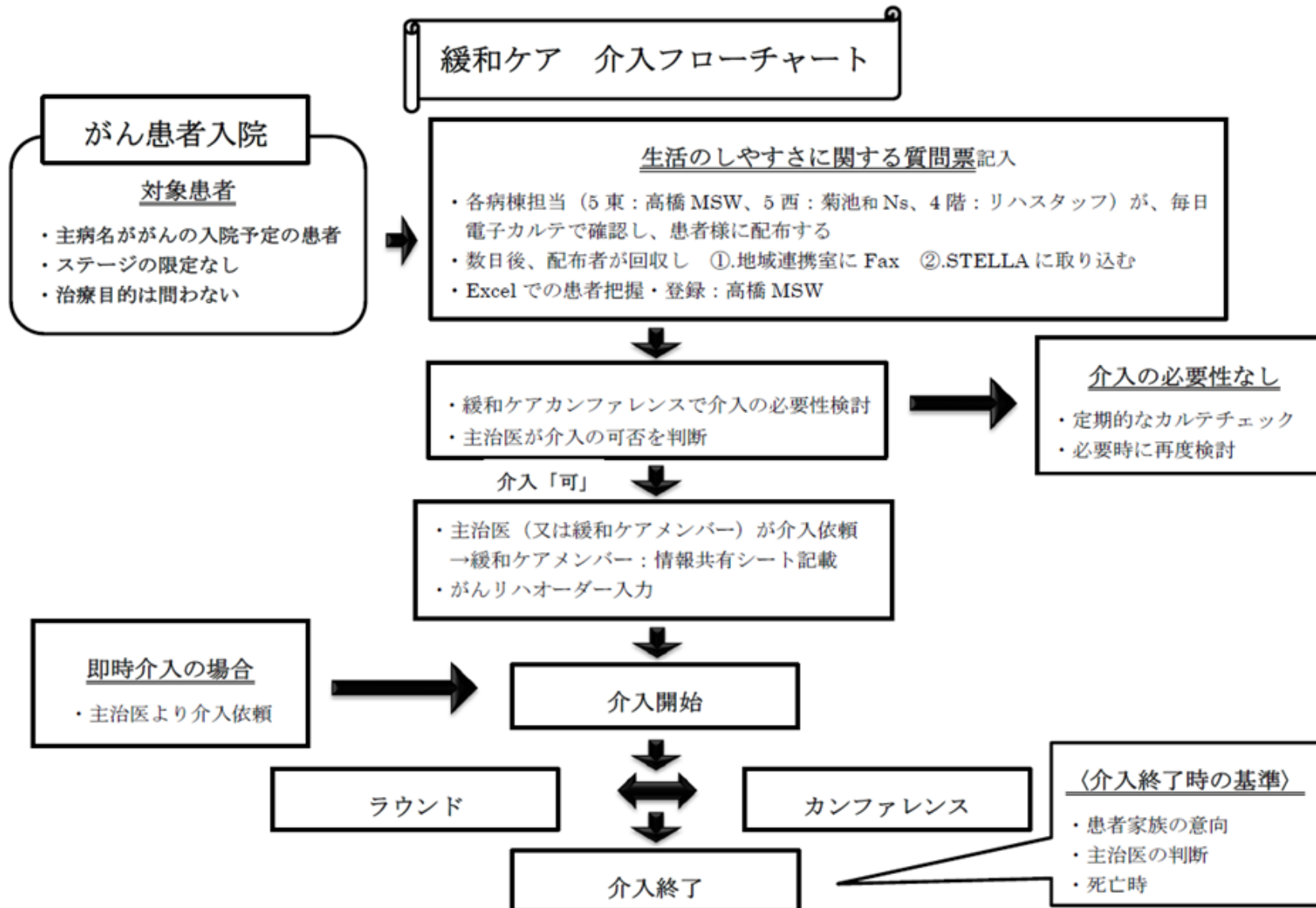
緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 令和6年4月1日時点

病院名 市立八幡浜総合病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

別紙のとおり



(別紙11)

外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 市立八幡浜総合病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

未 実 施

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 市立八幡浜総合病院

2ヶ月分の総数

3

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	2月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	1月9日	20	2	7	外科	循環器内科	循環器内科医師、がん化学療法看護認定看護師、看護師、ST、MSW
2	1月16日	30	2	7	外科	循環器内科	泌尿器科医師、循環器内科医師、がん化学療法看護認定看護師、看護師、OT、ST、MSW
3	2月20日	15	1	6	外科	循環器内科	外科医師、循環器内科医師、OT、MSW
4							
5							
6							
7							
8							

(別紙14)

緩和ケアに関する広報

病院名 市立八幡浜総合病院

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

別紙の通り

当院に「緩和ケアチーム」があることをご存知ですか。

つらい症状があるときは、
「緩和ケアチーム」にいつでもご相談下さい。



緩和ケアは治療と同時に
あなたを支援します。

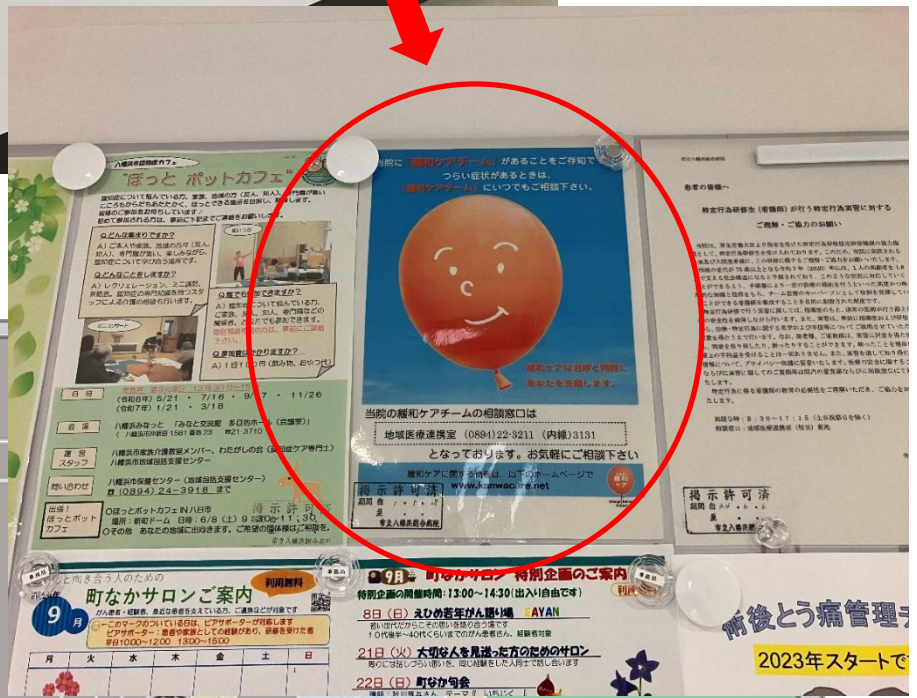
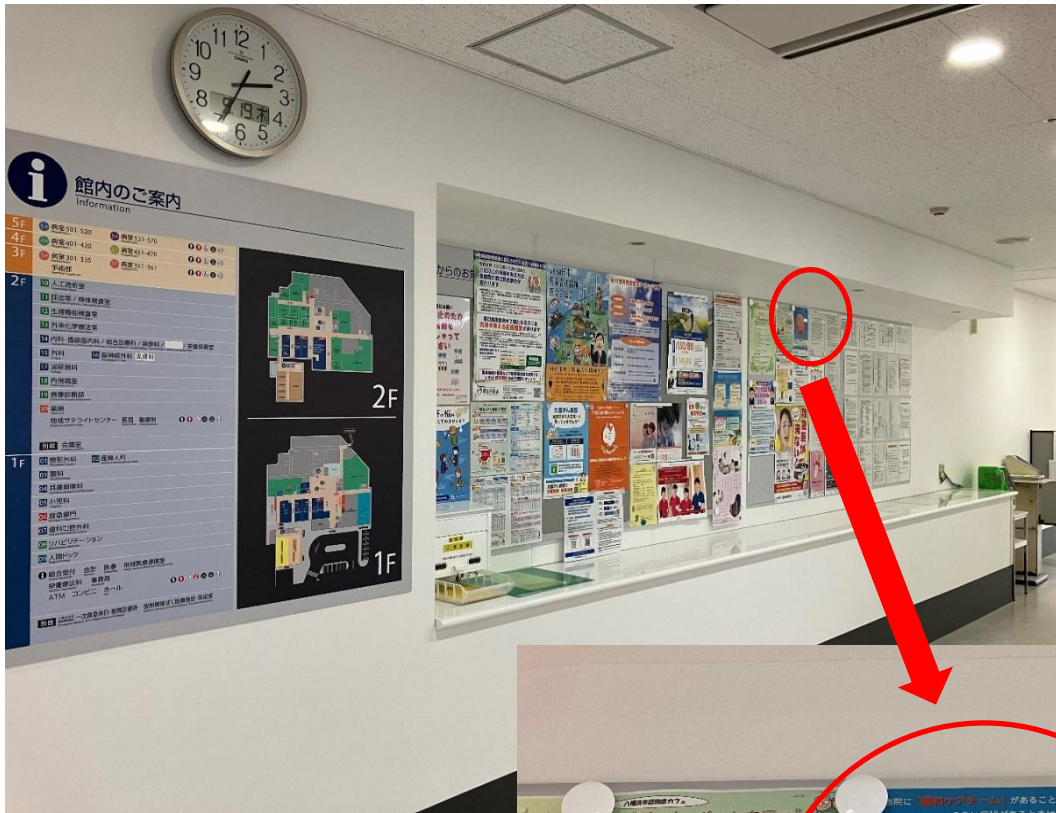
当院の緩和ケアチームの相談窓口は

地域医療連携室 TEL 0894-22-3211

となっております。お気軽にご相談下さい

緩和ケアに関する情報は、以下のホームページで
www.kanwacare.net





緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する
身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、
看護師(*)の専門性

病院名 市立八幡浜総合病院

	チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
(例)	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	身体症状の緩和に携わる医師	泌尿器科	常勤	兼任	38	日本泌尿器科学会 専門医・指導医・西日本評議員 日本透析医学会 専門医・指導医
2	身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	兼任	21	日本外科学会 認定医・専門医 日本消化器外科学会 専門医・指導医
3	精神症状の緩和に携わる医師	内科	常勤	兼任	20	日本内科学会総合内科 専門医・指導医 日本循環器学会 専門医 日本心療内科学会登録医
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

* 緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名 市立八幡浜総合病院

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	臨床病理科	非常勤	専従	37	日本臨床細胞学会 細胞診専門医
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

病理診断について他の医療機関からの協力によって対応できる体制

令和5年1月から令和5年12月について記載

病院名 市立八幡浜総合病院

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	愛媛大学医学部付属病院	愛媛県東温市志津川	996
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 市立八幡浜総合病院

令和6年1～2月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの 受け入れ件数	他医療機関への 紹介件数
(例)	25	80	90
	18	44	7

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	穴井診療所	1	0
2	いわもと婦人科クリニック	5	0
3	加藤内科	2	0
4	門田医院	1	0
5	鎌田消化器内科クリニック	3	0
6	串診療所	2	0
7	こくぶ内科クリニック	5	1
8	笹田循環器科医院	4	1
9	西安	1	1
10	瀬戸診療所	2	2
11	中野医院	2	0
12	なかの泌尿器科	6	0
13	ひらやま内科呼吸器内科クリニック	1	0
14	広瀬病院	3	0
15	真網代くじらりハビリテーション病院	2	1
16	三瀬病院	1	0
17	柳田脳神経外科	1	0
18	わとう医院	2	1
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

地域の医療機関の医師と相互の診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

令和5年11月～令和6年3月の間に実施したもの

病院名 市立八幡浜総合病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
1	11月10日	2時間	在宅緩和ケア症例検討会	在宅医療関係者	Web開催	62	腎細胞がん患者への支援について
2	12月1日	2時間	在宅緩和ケア症例検討会	在宅医療関係者	Web開催	55	在宅緩和ケアモデル事業と緩和ケアコーディネーターの育成について
3	1月12日	2時間	在宅緩和ケア症例検討会	在宅医療関係者	Web開催	56	胃がん患者への支援について
4	3月1日	2時間	在宅緩和ケア症例検討会	在宅医療関係者	Web開催	51	肺がん患者への支援について
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

(別紙20)

地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 市立八幡浜総合病院

パス整備数	3
登録医療機関数	5
パス適応数	0

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療なし)	40	15	2023/4/5
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療あり)	5	1	2024/2/1
1	胃がん	胃癌Stage I A/ I B連携パス	2	0	2016/9/1
2	大腸がん	大腸がん:手術 術後連携パス	2	0	2016/9/1
3	前立腺がん	前立腺がん連携パス	1	0	2016/9/1
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 市立八幡浜総合病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	はい
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	はい
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	はい
5	上記の内容を掲載しているページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/torikumi/second-opinion.html

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	呼吸器内科	1	
胃がん	対応可	なし	外科	2	胃がん
大腸がん	対応可	なし	外科	2	大腸がん
肝がん	対応可	なし	内科	2	
乳がん	対応可	なし	外科	2	

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
脳腫瘍	対応不可	なし			
脊髄腫瘍	対応不可	なし			
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応不可	なし			
甲状腺がん	対応不可	なし			
食道がん	対応不可	なし			
縦隔腫瘍	対応不可	なし			
中皮腫	対応不可	なし			
膵がん	対応可	なし	外科	2	
胆道がん	対応可	なし	外科	2	
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科	2	
腎がん	対応可	なし	泌尿器科	3	
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	3	
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	3	

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	3	副腎腫瘍
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科	3	前立腺がん
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科	3	精巣がん
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	3	その他の男性生殖器がん
子宮がん	対応不可	なし			
卵巣がん	対応不可	なし			
その他の女性生殖器がん	対応不可	なし			
皮膚腫瘍	対応不可	なし			
悪性骨軟部腫瘍	対応不可	なし			
血液腫瘍	対応不可	なし			
小児固形腫瘍	対応不可	なし			
小児血液腫瘍	対応不可	なし			
原発不明がん	対応不可	なし			
性腺外胚細胞腫瘍	対応不可	なし			

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応不可	なし			
疾患名:					
疾患名:					
疾患名:					

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応不可	なし			
放射線療法	対応不可	なし			
緩和ケア	対応可	なし	泌尿器科 外科 内科	1 1 1	

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 令和6年4月1日現在
 病院名 市立八幡浜総合病院

実施方法	一般外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	地域医療連携室	
電話番号	0894-24-2568	
FAX番号	0894-24-2562	
e-mail	なし	
対応時間	8時30分 ~ 17時15分	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	1回 5,500円	
超過料金	分につき 円	
その他の料金 (詳細と金額)		
相談時間の制限	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 令和5年11月1日～令和6年3月31日

病院名 市立八幡浜総合病院

件数 1

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 12月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	患者サロン	偶数月第1金曜日 13:30～15:00	別館2階 大会議室A	がん全般	患者・家族の語り合いの場を提供している	あり
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 市立八幡浜総合病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	参加済	6月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	6月24日	1日間	愛媛大学医学部附属病院主催 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	愛媛大学医学部附属病院	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 市立八幡浜総合病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	6月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

協力及び参加なし

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 市立八幡浜総合病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	8月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	9月14日	1時間	令和5年度多地点合同メディカル・カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	Web	1	コロナ禍出の緩和ケア
2	1月20日	3時間	愛媛県地域医療関係者向けアピアランスセミナー	二次医療圏内医療従事者	四国がんセンター	2	がん患者の外見変化への支援
3	3月16日	4時間	愛媛県がん相談員研修会	二次医療圏内医療従事者	四国がんセンター	1	診断期にある患者の意思決定支援
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

相談支援窓口の相談対応状況

期間 令和6年4月1日現在
 病院名 市立八幡浜総合病院

相談支援窓口の名称	地域医療連携室	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	0894-24-2568	
電話相談の電話番号	0894-24-2568	上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	地域医療連携室	例: 医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月～金 8:30～17:15	
対面相談の対応曜日と対応時間	月～金 8:30～17:15	上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間	月～金 8:30～17:15	上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		
FAX相談の実施	実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号	0894-24-2562	
e-mail相談の実施	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	看護師・社会福祉士	
ピアサポート提供の有無	なし	(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料		例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)		※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	不可	(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	なし	(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数		

相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名 市立八幡浜総合病院

がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1 ストーマをもつ患者の会	年1回勉強会、情報交換会、相談会を実施	あり
2		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 令和6年4月1日現在
病院名 市立八幡浜総合病院

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		はい
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0894-24-2568
	FAX	0894-24-2562
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 8:30 ～ 17:15
	ホームページのURL	https://yawatahama-cgh.jp/cms/department/region.html

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

4)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2016年版修正版

期間 令和6年4月1日現在
 病院名 市立八幡浜総合病院

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく
 一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を
 右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

	項目番号	項目名	登録している項目
基本情報	[900]	病院等の名称	○
	[100]	診療録番号	○
	[110]	重複番号	○
	[120]	カナ氏名	○
	[130]	氏名	○
	[140]	性別	○
	[150]	生年月日	○
	[199]	基本情報《テキスト》	○
腫瘍情報	[200]	診断時都道府県コード	○
	[210]	診断時住所	○
	[220]	診断時郵便番号	○
	[300]	原発部位《局在コード》	○
	[309]	原発部位《テキスト》	○
	[310]	側性	○
	[320]	病理診断《形態コード》	○
	[329]	病理診断《テキスト》	○
	[330]	診断根拠	○
	[350]	当該腫瘍初診日	○
	[360]	他施設診断日	○
	[370]	自施設診断日	○
	[380]	診断日	○
	[400]	診断施設	○
	[410]	治療施設	○
	[420]	症例区分	○
	[450]	来院経路	○
	[460]	発見経緯	○
	[470]	病名の告知の有無	○
	[500]	ステージ(治療前・UICC)	○
	[510]	TNM分類(UICC)T分類	○
	[520]	TNM分類(UICC)N分類	○
	[530]	TNM分類(UICC)M分類	○
	[540]	TNM分類(UICC)付加因子	○
	[550]	肝癌の病期(治療前・取扱い規約)	○
	[580]	進展度・治療前	○
	[600]	ステージ(術後病理学的・UICC)	○
	[610]	pTNM分類(UICC)pT分類	○
	[620]	pTNM分類(UICC)pN分類	○
	[630]	pTNM分類(UICC)pM分類	○
[640]	TNM分類(UICC)p付加因子	○	
[680]	進展度・術後病理学的	○	
[699]	腫瘍情報《テキスト》	○	
初回治療情報	[700]	外科的治療の有無	○
	[701]	外科的治療の施行日(自施設)	○
	[705]	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[706]	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[710]	鏡視下治療の有無	○
	[711]	鏡視下治療の施行日(自施設)	○
	[715]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[716]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[720]	内視鏡的治療の有無	○
	[721]	内視鏡的治療の施行日(自施設)	○
	[725]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[726]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[730]	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	○
	[740]	放射線療法の有無	○
	[741]	放射線療法の施行日(自施設)	○
	[745]	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[746]	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[750]	化学療法の有無	○
	[751]	化学療法の施行日(自施設)	○
	[755]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[756]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[760]	内分泌療法の有無	○
	[761]	内分泌療法の施行日(自施設)	○

	[765]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[766]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[770]	その他の治療の有無	○
	[775]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[776]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[780]	経過観察の選択の有無(自施設)	○
	[790]	症状緩和的治療の有無(自施設)	○
	[799]	初回治療情報《テキスト》	○
生存 状況 情報	[800]	生存最終確認日	×
	[810]	死亡日	○
	[820]	生存状況	×
	[830]	生存確認調査方法	×
	[840]	全国がん登録情報取得日	×
	[850]	死因情報(全国がん登録)	○
	[860]	追跡期間	×
	[870]	最新生存確認調査対象日	×
	[880]	最新生存確認調査実施日	×
	[899]	生存状況情報《テキスト》	×
管理 情報	[910]	紹介元施設	○
	[911]	紹介先施設	○
	[919]	紹介状況《テキスト》	○
	[920]	全国がん登録届出状況	○
	[921]	全国がん登録最新届出日	○
	[922]	全国がん登録届出責任者	○
	[930]	登録日	○
	[931]	登録者	○
	[940]	最新修正日	○
	[941]	最新修正者	○
	[950]	最新住所	×
	[951]	最新郵便番号	×
	[952]	最新住所更新日	×
	[970]	診療科情報《テキスト》	○
	[971]	主治医情報《テキスト》	○
	[989]	管理情報《テキスト》	×
	[999]	全般情報《テキスト》	○
	[989]	管理情報《テキスト》	×
	[999]	全般情報《テキスト》	○

※ 項目の定義については、国立がん研究センターが提示する
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年度版 修正版」を参照すること

八幡浜おれんじ サロン

このサロンは、

がん患者さんやご家族の交流の場です

気持ちがちよっと楽になるかもしれません。
また、ご自身の経験が周りの人の力になることもあります。
お話を聞きに来られるだけでも構いません。

日 時

偶数月 第1金曜日 13:30~15:00

2月 2日	語り合い	
4月 12日	語り合い+ミニ講座	リハビリスタッフより
6月 7日	語り合い	
8月 2日	語り合い+ミニ講座	痛みの治療について
10月 4日	語り合い	
12月 6日	語り合い+ミニ講座	がん治療中の生活
2月 7日	語り合い	

場 所

市立八幡浜総合病院 別館2階会議室A

参加無料・予約不要

☆当院を受診したことがない方や、ご家族のみの参加も大歓迎です。
お気軽にご参加ください。

お問い合わせ

市立八幡浜総合病院 地域医療連携室（高橋）

☎0894-24-2568

「愛媛県がん対策推進計画」においても、がん患者・家族の語り合いの場＝サロンの必要性が明記されています。
八幡浜でもNPO法人愛媛がんサポートおれんじの会と連携し開催していきます。

地域住民へのメッセージ

病院名 市立八幡浜総合病院

地域住民へのメッセージ(各項目200字以内)

愛媛県がん診療連携推進病院として

地域に住む皆様が、住み慣れた地で安心して治療を受けられることを目標に、院内に所属する医師をはじめとする全ての職員で最善の医療を提供できるよう努めています。

私達の目指すものは、悪性疾患(癌)においても、手術・化学療法などを含め大病院に行かなくてもこの地域で同じ治療を提供できる体制、「市立八幡浜総合病院があるから安心して日常生活を送ることができる」という医療上の安心感を地域住民に保障することです。

がん診療に関する当院の特長

主に消化器(胃・大腸等)がん、乳がん、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんの根治手術や化学療法を行っています。

当院では対応できないがんや放射線療法については、対応可能な医療機関を紹介を致します。

相談支援窓口について

当院では、がんについての相談や質問は、地域医療連携室が窓口になっています。

・医療相談

診療、医療費、福祉、介護など各種制度についてご相談をお受けいたします。

・入院患者さまの転院や退院後の生活に関する相談

各医療機関・社会資源の情報提供や関係機関との連携をはかります。

がんについて気になることがあればご相談ください。

患者さまやご家族が抱える悩みや不安が軽減されるよう専門の相談員が共に問題に取り組みます。

緩和ケアの提供体制について

当院の「緩和ケアチーム」は、主治医をはじめとする病棟スタッフと連携して、患者さまの生活の質が向上されることを目的としています。

患者さまやそのご家族一人一人の身体や心などの様々な苦痛を和らげながら、それぞれの価値観を尊重し、その人らしく生きるための支援をしています。

支援の対象は、当院に入院・外来通院中のがん患者さまとご家族等としています。